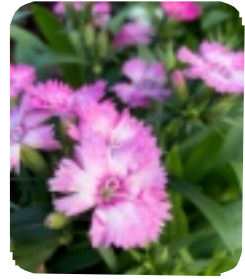


ぎやらりーわ

NO.85

2019年1月号

編集・発行 NPO法人グループわ (水町亮治) ホームページ <http://www.wa-net.jp>
〒651-1106 神戸市北区しあわせの村1番16号 TEL078-743-8101 FAX743-3830



● 花の村内散歩
ペゴニア

神戸市・市民サポーターによるフレイルチェック会

取組スタート!

11/21、12/12両日、K S Cで開催

希望者三十三市民を対象に



片足立ち
テスト

両手の親指・人差し指で輪っかを作り、ふくらはぎを囲みます。

チェック風景



握力テスト

5秒間に何回「タタタ」と言えますか？



「滑舌」パタカテス



指輪っかテスト



手足筋肉量の測定



イレブンチェック

グループわ「救急ボランティアOB会」が中心になって立ち上げたフレイルサポーターの取組がスタートしました。11月21日、チェックを希望する市民20名を対象に、まずは東京大学の飯島勝矢先生からフレイル予防の説明。そして、いよいよフレイルチェックです。チェック項目は「噛む力」「滑舌」「片足立ち」「ふくらはぎ周囲長」「握力」「手足の筋肉量」等。

チェックする方もされる方も初めての経験ですが、なんとか和気あいあいと実施することができ、合格点を頂きました（一同ホッ！）。

12/12には、2回目のチェック会。市民13名の参加でおこなわれました。➡2面に関連記事。ご参照ください。（報告・浜田）

注：フレイル＝虚弱。



ボランティアの輪をひろげよう

85号の内容

わの新規取組	フレイルサポーターの取組、ロハスひろば	1-2面	
文化部会（伝統文化系）紹介	各グループの取組と課題	4-6面	
しあわせの村30年シンポジウム	3面	カレッジだより、わだより	10面
学習支援者の集い	7面	西日本豪雨災害支援募金 報告	11面
活動レポート/部会、区会	8~9面	トピックス/photoニュース	12面



しあわせの村 開村30周年 記念シンポジウム

記念企画
第1弾

しあわせの村は、1989年（平成元年）4月にオープンしました。来年4月には開村30周年を迎えることとなります。現在、来年の記念イベントが各種企画検討されていますが、その第1弾として11月8日にカレッジホールで、記念シンポジウムが開催されました。

この三十年を振り返り 今後は何をやるか



服部祥子学長 開会挨拶

私たちの愛する神戸が、より美しく、より生き生きと元気よく、未来に向かって歩んでいけるようシンポジウムを通じて考えましょう。

第1部 記念講演

“しあわせの村と この30年”

園田学園女子大学名誉教授

田辺真人先生

田辺先生のお話は明治維新や室町時代に遡り、生活文化の変化を熱く語られました。明治維新から150年。大きな変化はその前半に終わった印象があるが、実はこの30年の変化が大きいとの指摘が印象的でした。



- 1981年(昭和56年)11月 しあわせの村着工
- 1989年(平成元年)4月 しあわせの村開村
- 1993年(平成5年)9月 シルバーカレッジ開学
- 1995年(平成7年)1月 阪神淡路大震災
- 1997年(平成9年)7月 グループわ設立
- 2004年(平成16年)4月 グループわNPO法人化

第2部 パネルディスカッション

“シルバーカレッジが開く新しい世界”



パネルディスカッションは、服部学長がコーディネーターを務め、5名のパネラーの報告と質疑応答、そして最後には会場からの質問も受け付けて、シンポジウム参加者の認識の共有化が図られました。

グループわからは、みんなの食堂「なかみちこみち」島村代表、We love “もったいない” 富川代表、グループわ大槻副理事長が出席。活動報告に加え、率直な苦労話や問題点、今後の方向が語られました。

会場からもKSC入学が生き方を変える契機になったとのエールが送られ、出来る活動を続けたい等の声が出されました。最後にコーディネーターより、私たちの生活の場である地域社会を守るために、私たち一人ひとりに何ができるのか、共に考え共に行動しましょうとのまとめをいただき、シンポジウムは終了しました。

しっかり食べて、しっかり動いて、みんなで楽しく

フレイル予防
3ポイント

フレイル予防活動に サポーターとして参加しました

サポーターリーダー 北条佳代子
いつまでも元気で長生きしたいKSC卒業生、グループわと救急ボランティアのメンバーが一つの集団となり、神戸初のフレイルサポーターとして第一歩を踏み出しました。チェック会は同世代シニアの市民参加。どこが元気で、どこが元気でないかを調べていき、結果の説明になると参加者の後ろで頷くサポーター。自分も大丈夫かな？と、自分を見つめる



代表の北条さん
メンバー集合



機会になる時間だと感じました。そして2回のチェック会では「完成度が高い」とチームの評価を頂き、驚きました。元気でやる気のメンバーの底力は、きっとカレッジ生活やボランティア活

動で培われた力かと思います。神戸市の行政下での活動になりますが、学ぶことの多いこのサポーター活動をチーム力で頑張っていければと思います。

(本ページ編集：浜田)

11月10, 11日、しあわせの村は大勢の人出で大混雑。リサイクルマーケットに環境取組の観点を加えた、新展開のこうペロハスひろばです。グループわも5グループが協力。来てくれるかな？ 実施前の心配は杞憂に終わり、多くの方々と交流しました。

(取材：浜田)



『大勢のお客様から元気をいただいた』
ケナフの会



『手作り作品は子どもにも人気でした』
木エグループ



『嬉しい悲鳴です』持参いただいた大量の古着を整理する We love “もったいない”



『カレッジ外活動のキッカケに』
フードドライブ

女性に人気の
手作り小物
さおり・たまも



「もったいないひろば」「手作りひろば」
グループわ 環境取組等の視点で出店

こうペロハスひろばって？

人にやさしく環境にやさしく、「人から人へエコの気持ちをお届けする」「楽しみながら健康と環境にやさしいエコライフ」をテーマに…集い、体験し、活動の情報発信ができるコミュニケーションひろば。(こうペロハスひろばHPより)

1-3月 スケジュール

1-2月 施設訪問等のイベント (本部事業担当)

パソコン教室 (パソコン何でもお好み塾)

1/11(金), 18(金), 25(金)

2/1(金), 8(金), 15(金), 22(金)

3/1(金), 8(金), 15(金), 22(金), 29(金)

“わ”んだーらんど／こべっこランド

2/17(日)

ロハスひろば／しあわせの村

3/16(土), 17(日)

UDフェア(*)／しあわせの村

3/17(日)



(*)UDフェア

こうベユニバーサルデザインフェア＝年齢、性、国籍、身体状況等の違いを越え、互いに多様性を認め合い全ての人が力を発揮して支え合うユニバーサル社会の実現が目的。

塩屋柏台パールクラブ

手話ソング同好会 1/9(水)

ぼ一愛

書道クラブ 1/11(金), 2/8(金)

太極拳ゆったり体操 1/16(水), 24(木),
2/6(水), 21(木), 28(木)

楽遊クラブ銀雅 1/17(木), 2/14(木)

下畑台小学校

むかしあそび研究会 1/18(金)

透鹿園

KSCマジッククラブ 1/20(日)

須磨トレモロクラブ 2/17(日)

ひよどり保養所

一寸奉仕 2/14(木)

文化部会 I (伝統文化系)

伝統文化のさらなる継承を！！

各部会「多彩な交流活動の拡大」の特集は、文化部会 I (会長：重松豊彦・国9) の11グループです。ぎやらりーわ編集部は12月19日定例ミーティングにお邪魔して部会の活動状況や今後の目標についてお聞きしました。それぞれのグループの今後の活動・方向と課題・最近頑張っていること・活動を始めようとしている若い人達に贈りたいメッセージ等について、コメントをいただきました。非常に活発で様々な活動が紹介されています。(編集・八木)



文化部会 I (伝統文化系) の組織と活動

11グループが連携して活動推進

- 1) 書道部：会員65名で構成
活動内容：書道展 (11月頃) 市内施設ボランティア
- 2) KSCマジッククラブ：会員75名で構成
活動内容：ボランティア活動年間70～80回、高齢者施設、障害者施設、幼稚園、病院、地域イベント等
- 3) 朗読・あかりの会：会員12名で構成
活動内容：朗読録音、CD作成し障害者の方に配布、施設に紙芝居等の慰問、小中学生対象のガイドヘルプ等
- 4) 人形劇 ほたる座：会員9名で構成
活動内容：高齢者施設等で童話、民話を題材にした人形劇を出張公演
- 5) むかしあそび研究会：会員199名で構成
活動内容：学校・地域等で、種々の伝統的な玩具で子供達と共に遊び、領域を広め、楽しさを体験させる
- 6) うらしまたろう：会員12名で構成
活動内容：福祉施設友愛訪問は演芸南京玉すだれを幹にメンバーの持ち芸をプラスし、公益団体の子供向けイベントの運営支援でバルーンアート、皿回し
- 7) おはなし糸車：会員15名で構成
活動内容：朗読・絵本の読み聞かせ、紙芝居などを通じて子供や高齢者との交流をしている
- 8) 折り紙グループ悠々：会員11名で構成
活動内容：折り紙で福祉施設や幼稚園を友愛訪問
- 9) わらい届け隊：会員19名で構成
活動内容：ちんどん屋・腹話術・マジック・歌と踊りなどで、地域社会に笑いと元気を届ける
- 10) 石わ会：会員9名で構成
活動内容：介護施設・老人保健施設等に行き、入所者と囲碁を通じてコミュニケーションを図り、健康で長生き及び認知症防止のためのお手伝いをする
- 11) KSC茶道部同好会：会員10名で構成
活動内容：福祉施設・保育園・幼稚園・学校等に心を込めてお茶をたて、伝統文化である茶の湯の心を伝える

“いろいろな機会を通じ 伝承活動を継続していく”

文化部会には25のクラブがあります。伝統文化系が11グループ、音楽系が14クラブです。

日本の暮らしの中の伝統文化を、いろいろな機会を通じて伝える伝承活動を続けています。

また歌や踊り、楽器の演奏などで見て、聞いて、楽しんでいただけるように施設やイベントなどで幅広い活動に取り組んでいます。今回は伝統文化系の11グループの紹介をいたします。

(部会長 重松豊彦)

1) 書道部の取組と課題

代表：友原 誠

書道部は「日本書芸心龍会」に所属し、神戸支部として優秀な成績を挙げています。

初心者には基礎から、更に上達を望む人には師範格のOB講師が、親切丁寧に指導に当たっています。部員は在校生・OB合わせて約70名で月に3回研修館に集い、漢字・かな・細字・硬筆 など色々自分の好きな書に取り組んでいます。先の学園祭では、在校



生が56×400cmの舞台看板(一文字)を太筆で力強く仕上げ注目を集めるとともに、皆で協力して創りあげる苦勞と楽しさを味わいま

した。また、介護老人施設や児童館等でボランティア活動もしています。29年度には19施設で延べ3,806名の方々へお手伝いや指導をしました。より多くの人と書の楽しさを共感出来たら…と頑張っています。

各グループの取組と課題

2) KSCマジッククラブ

代表：森田明朗

KSCマジッククラブは昨年創部20年の節目を迎えました。現在、不思議大好き人間70名が「奇術」「喜術」なりをモットーに月2回の例会を楽しんでいます。年間の主な行事は、4月総会及び春の手品会、9月秋の1泊研修会、11月マジックの祭典（学生と合同）マジックとは何が楽しいのか？学問的に難しく言うと「人間心理の盲点を巧みに利用して、常識社会の



中に非常識の世界を作り上げ見せるアートです」そんな理屈よりも、ただ大人も、子供さんも、目の前で瞬間にハンカチの色が変わる、ボールが消える、ハンカチの中から鳩が飛び出す、切ったロープがつながっている等の現象に「オー」とか「ワー！」と驚きの声をあげ、拍手を頂けるのです。この拍手を励みに年間100回のボランティア活動を目標に頑張る所存です。

.....

4) 人形劇 ほたる座

代表：東本孝次

「ほたる座」の歴史は古く、震災直後にKSC第1期生が立ち上げたと聞いている。ところが現在はメンバーも高齢化してきて、最古参は5期卒である。当然のことながら活動も低調で年間に数回の公演に留まっている。以前は各地の「こども会」から声が掛かって出かけて行き、孫と同世代の観衆から随分元気をもらって帰り、本当にありがたいことだと話し



合ったものである。直近3年の活動（公演）実績は以下の通りである。在籍メンバーは8名。

平成28年8月22日、老人施設「メープルホーム」、同9月7日、「シルバーハイツひよどり」。平成29年5月5日、神戸市水の科学博物館、同8月11日、老人施設「まんてん垂水」、同9月16日、こべっこランド。平成30年3月9日、井吹の丘小学校なかよし学級、同7月30日、老人施設「まんてん垂水」、同9月7日、老人施設「メープルホーム」。このように主に老人施設にて細々と活動し、同世代の観衆に劇を披露している昨今である。

3) 朗読・あかりの会

代表：淡路忠義

あかりの会は、3期生の平林先生の指導の下に、朗読・視覚障がい者のサポート等の活動し、卒業後も日本赤十字社兵庫県支部・声の図書奉仕団に参加して、朗読を中心に、日赤の行事、防災訓練・小中学生への点字・車いす・ガイドヘルプ等の講習・募金活動・神戸まつりパレードの支援等を15年間参画して参りましたが、メンバーの高齢化のため2019年3月末をもって卒業することになりました。これまでグループの皆様からいただいた多くのご支援に心より感謝いたします。最後に皆様のご健康とますますのご活躍を祈念いたします。



5) むかしあそび研究会

代表：大澤貞男

折り紙、お手玉、あやとり、こま、けん玉、ぶんぶんどま、竹とんぼ・・・子どもの頃に親しんだ遊びに一工夫加えながら、小学校、幼稚園、保育所や児童館に出かけて孫世代の子どもと一緒に楽しく遊んでいます。

また、夏祭りなどの地域イベントでは子どもだけでなく大人にも「懐かしいな～」と楽しんでいただいています。月一回の例会は研修と遊び道具作り。皆さん



老化防止を兼ねて手と口を最大限に働かせて元気一杯ですが、少しずつ

参加者が減っているのが悩みの種。こども文化（在校生）との連携を強化しつつ、遊び内容の拡大や質の向上を図って「昔遊び、めっちゃ楽しい～」と言ってもらえるようこれからも頑張ります。

各グループの取組と課題

6) うらしまたろう

代表：藤井健次

「うらしまたろう」は、高齢者から児童までを対象に活動するグループです。現会員は12名で、老人福祉施設等を会員の持ち芸を組み合わせ合わせたオリジナルプログラムで、年間30回程度の慰問訪問活動や、イベント参加の活動を行っています。

1. グループの今後の活動方向と課題：オリジナルプログラムを更なる多様化と、魅力UPが出来るように会員の自己研鑽。年々平均年齢の上昇が課題。

2. 最近頑張っていることなど：クラブのモットーとしてボランティア訪問時には、頑張るのではなく、「顔晴りましょう！」を愛（合）言葉にしています。



8) 折り紙グループ悠々

代表：榎田みどり

私たち折り紙グループ悠々では、様々な行事に参加させて頂いております。5月5日子供の日にしあわせの村で行われる「わ」の行事で新聞紙でのカブト作りや、夏休み子供塾での動物他、水の科学博物館でのイチゴバッグ、KSCでの作品展示など…。外部ではクリスタルでの作品展示にも参加しています。

毎月第2金曜日に定例会を行い、会員の折り紙研修とボランティア先での作品習得、ボランティア先に行く方を決める打ち合わせをしています。

北区会をはじめ、児童館の小学生に折り紙を教える嬉しいとの依頼も受けております。今後悠々の名のごとくいついつまでも皆様から喜んで頂きますよう精進して参ります。



7) おはなし糸車

代表：阪田輝夫

平成19年4月結成、毎月第三木曜日の定例会では、詩や文章を「生き生き」と表現できる朗読を目指し正しい発声、アクセントと共に声を出し作品に触れる楽しさ、表現をする楽しさを学びつつ学んだことをボランティア活動に生かそうと朗読・紙芝居・エプロンシアター・大型絵本の読み聞かせ等にチャレンジ、保育所、小学校、高齢者の施設を訪問しています。

児童施設では訪問する度に成長している子ども達に触れ圧倒されることも度々、素直にすくすくと成長する眼差しが美しく眩しく感じられます。

高齢者の施設では昔懐かしい、金色夜叉や愛染かつらなどでは思わず歌を口ずさむ方もおられます。

結成当初は市販の紙芝居を使っていましたが最近は手作りの紙芝居の作成に力を入れながらも活動全体の



資質向上を目指し更に学んでいきたいと思えます。

9) わらい届け隊

代表：古後健一

(1)「見せる」から「一緒に」へ

私たちは、地域社会に笑いと元気を届けるボランティアグループです。全員がさまざまな得意芸を披露しますが、いつも心がけているのは、ただ「見せる」のではなく「一緒に参加して楽しんでもらう」ということです。子どもたちは勿論、お年寄りの介護現場からも最近とくに寄せられる要望でもあります。

(2)楽しくチャレンジ

私たちは「無理せず楽しく」をモットーとしながら、同時に「チャレンジ」も忘れまいと考えています。芸を見せる立場としては、どうしても慣れた技に頼りたくなるものですが、毎回同じものでは、見る方も演じる方も飽きてき



ます。例会では毎月、新しいジャンルに挑戦していますので、皆さんも一度覗いてみませんか。

10) 石わ会

代表：川部忠夫

1. グループの今後の活動方向と課題

- 1) 平成28年11月にグループが発足し、丸2年がたちます。その間には、①長田すみれ苑②長田ケアホーム③神港園白川④須磨きらくえん⑤ふたば老人ホームと訪問し囲碁のお相手をさせて頂きました。しかし、現在は神港園白川とふたば老人ホームの2か所です。各区の社会福祉協議会と連携し、新たな活動場所を開拓する。
- 2) 会員は20期が主体で、15期が一人と19期が一人ですが21期や22期の会員を増やしたい。
- 3) 代表をそろそろ交代したいと考えています。

2. 最近頑張っていること。(今年は頑張りたい)

- 1) 練習場所としての石遊会・石秀会の例会には、出来るだけ参加するように心掛けているが、スケジュールが合わず参加出来ていない。今年からは、全て参加できるようにスケジュールを考えていきたい。



11) KSC茶道部同好会

代表：清水裕太郎

茶道部同好会は発足して1年余りの若いグループです。この1年はグループがスムーズに活動できる体制づくりを考え、会員の勧誘とボランティア先の確保に努めました。

その結果、会員は25名となり、老人介護施設での抹茶接待、保育園での茶道指導、春・秋のしあわせの村・日本庭園での茶席開催、北区古民家で開かれる月見会での抹茶接待などの活動を行うことができました。

断っているボランティアの依頼もありますので、会員、特に男性会員を増やすことが必要だと思っています。

まだ経験の浅いグループであり、無理をせず身の丈に合った範囲で、会員が楽しく活動できるグループを目指したいと思っています。

入会を希望される方をお待ちしています!



(本特集の編集：八木)

秋の学習支援者の集いを開催

学習支援委員会委員長 岡本紘一

発達障がいの特徴とその対処の仕方を学ぶための「学習支援者の集い」を12月14日にカレッジ学習室で開催し、学習支援者、カレッジ現役生など約23名が参加しました。

竹田契一先生の「発達障がいの幼児児童生徒はどこでまずくか」宝塚武庫川ロータリークラブでの講演会の動画



の内8つの寸劇を見て討議しながら学習しました。

竹田契一先生は、大阪教育大学名誉教授 大阪医科大学LDセンター顧問で、

発達障がいの第一人者です。

この寸劇の動画は、アスペルガー症候群、ADHDなどの様々な発達障がいの特徴とその対処の仕方を若い先生方が熟演した後に、竹田契一先生が解説されていて、判りやすく理解しやすいものでした。2つの寸劇の動画を見た後に、参加者に同じような内容の体験談をしてもらい、それを繰り返すことにより、理解の度合いが深まるようにしました。

またこの日が学習支援日であることなどで参加できなかった支援登録者が多くいました。そこで、この動画を自宅のパソコンで見る方法を学習支援者へ再度連絡しました。

この動画を多くの人が見て、学習支援者が増えていくことを期待しています。



(写真；才上眞行 文；岡本紘一)

講演動画の見方

YouTube検索⇒「竹田契一先生LDセミナー」

or「宝塚武庫川ロータリークラブ」

*）講演9本、寸劇8本の動画に分割されています。

活動レポート

【環境部会】

◎曾根「のじぎくの里」森林浴ハイキング

秋の森林浴ハイキング11月5日（月）（グループわ主催、森の仲間協力）開催され21人が参加、日差しの強い快晴に恵まれたなか、森林浴を楽しみました。

JR明石駅に集合し山電で曾根迄行きました。曾根天満宮で記念撮影し出発、ハイキング道を歩きました。日笠山のじぎく園を通り、夫婦岩で昼食、休憩し記念撮影、馬坂峠でのじぎくをみて、大塩城跡を通り、JR曾根駅に到着しました。約4Kmですが、上り下りが多く、途中で苦しい登り下りもありましたが、皆様健脚でトラブルもなく、計画通り約4時間のコースで、曾根駅で解散しました。



【環境部会】

◎「親子で集まれ自然遊び塾」

秋晴れの11月25日（日）に、子ども夢基金「親子で集まれ自然遊び塾」がシルバーカレッジ、園芸室で開催されました。

5家族の親子15名が参加され、10時からケナフの説明の後、女性の染め担当の指導の下、染め物づくりに熱心に真剣に取り組まれ、初心者の方ばかりでしたが、素晴らしい作品が出来ました。

染め作業の途中に調理室に移り、ローゼル茶、ローゼルジャムを試食し、美味しいと評価されました。そして炭焼き窯を見学、竹炭をプレゼントしました。

参加の皆様にご喜んでいただき、ケナフの会の活動項目が一つ増え、成功裏に終わりました。



【文化部会】

◎ 第13回楽遊クラブ 銭太鼓交流会

11月17日（土）KSCカレッジホールで、恒例の第13回楽遊クラブ銭太鼓交流会が、開催されました。

亀岡のグループが、急遽不参加となりましたが、6グループが出演、淡路島をはじめ他地域の銭太鼓クラブや先輩・現役も含めて、80名の皆さんがそれぞれのクラブの特色のある演技で盛大な交流会が開催されました。グループわからは水町理事長が来賓として挨拶されました。中休みでは会場の皆さんが銭太鼓を手に持ち澤田京子先生の指導の下、「いい湯だな」の伴奏で銭太鼓を体験し、大変好評でした。



【文化部会】

◎2018年全国シルバー合唱コンクール

KSC男声合唱団 銀賞を受賞 小畑 浩昭（国16）

KSC男声合唱団が2018年全国シルバー合唱コンクールにおいて銀賞を受賞しました。

このコンクールには全国から35団体が出場しています。

KSC男声合唱団は全国シルバー合唱コンクールに初めて参加して以来、今回が6回目となりますがこの間、銅賞1回、審査委員特別賞を2回受賞してきました。



【須磨区会】

◎第6回ウォークラリー大会 細野恵久（福祉3期）

10月28日（日）奥須磨公園を舞台に思い思いのニックネームの9チームが得点を競いました。今回のコースは約4km。途中12か所のチェックポイントでは通過スタンプのほか自然環境や地理・歴史のクイズが与えられました。

例えば周辺が多井畑の地にゆかりの在原行平、源義経、松尾芭蕉を年代順に並べる問題など。所要タイムは早すぎて遅すぎてもダメ。今回は参加9チームの平均値に近いほど高い得点とされ、89分でゴールした《ニアピンチーム＝神澤のり子（音17）ほか2名》がクイズでも正解を重ねて優勝しました。

健康的でしかも知識や判断力を求めるウォークラリーを定例の親睦行事に採用して6年。毎回の成功の陰にはスタッフの努力

に加え公園管理者および多井畑厄除八幡宮のご理解とご協力があることを強調しておきます。



【長田区会】

◎「バードウォッチング・植物鑑賞&ランチの会」

藤本 誠（音文20期）

11月12日（月）に「バードウォッチング・植物鑑賞&ランチの会」を“しあわせの村”内で開催しました。

当日は雨も降らずおだやかな天候のもと楽しく過ごしました。

今年は、ガイド堀池夫妻のもとバードウォッチングの他、初めて植物鑑賞を企画し村内を2時間散策しました。

最高齢83歳の会員さんも居られ、参加者全員が植物の種類之多さと歴史等に驚き新しい発見が出来たと喜んでいました。そして昼には“たんぼぼの家のカサブランカ”でランチ。豪華定食を食べながらお互いの近況報告など歓談し楽しいひと時を過ごしました。また今後のイベントの要望があり参考になりたいと思います。

今後は、「新年会」と「花見」など無理の無い企画で多くの会員の方々と交流をして楽しみたいと思っています。



【兵庫区会】

◎兵庫区会現況 小椋宗二（食文21期）

会長に就任させていただき、約1年。会員も70名近くになりました。

それでも定例会にはなかなか人が集まりません。

4月の花見を開催した時には25名程の参加があり、これで定例会も目途が立ったと感じましたが、なかなか…。

兵庫区内の安心すこやかセンターの各担当者からも、色々と区会の協力を求められています。皆さんそれぞれボランティアの活動をされていて協力できないことを、心苦しく思っておられます。“なかみちこみち”も何人かがお手伝いしている現状です。

これから、いかに魅力ある区会にしていくかが今後の課題だと試行錯誤している次第です。



【垂水区会】

◎垂水会活動状況

藤下 裕史（生環21期）

垂水区会では、KSC卒業生で別に組織しているSC垂水会と連携を取り、①舞子駅周辺美緑化②舞子駅周辺ガイド③福田川クリーン作戦④のぼら学園⑤ジョイ垂水⑥多聞ひまわり幼稚園⑦サークル・クルレの7グループが毎月定期的にボランティア活動を実施しています。加えて垂水区行政等からの要請による活動にも年数回参加しており、本年度11月末までの活動は延べ114日/406人となっています。

11月30日には本年度3回目となる親睦行事「親睦ボーリング大会」を開催。23名が参加し、ストライク、ガーターに一喜一憂しながら、みんなで楽しくゲームを行い、親睦を深めることができました。



（本ページ編集：才上）

西日本豪雨災害 支援金募金



団体・グループ

須磨区会	1万円
国際部会	1万円
むかしあそび研究会	
13期有志	6千円
楽遊クラブ銀雅有志	
	1万1千円
銭太鼓北山	3千円
大正琴プリムラ有志	
	5千円
グループわ	1.5千円

166口52万円のご厚志をいただきました

昨年7月上旬に発生した西日本豪雨は、各地に甚大な被害をもたらしました。グループわでは、7/24発行のぎやらりーわ83号に支援金募金のお願いを同封し、10月まで募金活動を進めてきました。

その結果、記載の通り個人159名と7団体・グループから合計519,500円の募金を頂き

ました。ご厚志ありがとうございました。とくに被害が大きかった岡山県真備地区では、今、仮設住宅が整備されたところです。グループわでは神戸市社会福祉協議会を介して現地と連絡をとりながら、2月頃には慰問チームを結成し、被災地への訪問活動をおこなうための準備を始めています。

個人

募金順に記載(左上から下へ)

生環17 戒井正俊2千円	福祉19 伊谷幸子1千円	食文3 住田暉江5千円	生環3 榊田みどり/紀美子1万円
生環15 井奥 稔5千円	福祉17 伊谷正弘1千円	音文13 後藤拓代5千円	福祉1 胤艸武宏2千円
福祉17 道井 紅2千円	生環13 村井英子2千円	福祉11 阿部和子5千円	生環21 藤下裕史3千円
音文19 加茂周治2千円	福祉19 桐山晃子1千円	福祉16 原田隆弘3千円	福祉13 藤田忠之3千円
国際13 多賀浩三3千円	福祉16 水野光明1千円	福祉19 日下部美知3千円	福祉18 大川美枝子1千円
福祉22 中川美佐江1千円	音文20 中島洋子1千円	音文20 濱田慶子1千円	生環14 入口康子1千円
園芸20 下田ゆみ子1千円	食文17 藤原 治1.5千円	国際9 北山秀俊5千円	食文20 田辺正夫1千円
一般 南 弓子1千円	国際5 中村吉宏3千円	食文7 藤本一子3千円	食文20 藏本公子2千円
福祉3 桑原サト子2千円	福祉11 阪田輝夫5千円	生環17 秋山静司1千円	福祉12 三木善隆2千円
園芸6 上野 堯2千円	生環19 綿本六夫5千円	生環22 高砂雅人1千円	福祉14 藤井健次5千円
国際20 藤井ノブ子2千円	生環11 黒崎幸雄1万円	園芸15 田原厚子1千円	国際10 甲田節子2千円
福祉12 北島輝子2千円	福祉20 川部忠夫1千円	福祉14 沖 邦輔1千円	音文17 橋本幸代1千円
食文7 久保田盛利3千円	園芸22 森本和摩1千円	食文20 大槻隆文5千円	福祉20 森川和己2千円
生環17 林 宏文3千円	福祉21 小山剛生1千円	生環13 道満俊徳3千円	園芸22 藤津匡章2千円
食文22 石中康彦3千円	生環9 元田弘忠1千円	国際9 重松豊彦2千円	福祉7 飛毛慶隆3千円
福祉19 藤田健一5千円	国際19 保田ちよ子1千円	園芸15 中田郁子5千円	生環18 島ノ江繁吉2千円
福祉22 永井和子5千円	国際8 佐伯義昭1千円	音文13 村岡 孝2千円	音文20 小原香苗5千円
生環18 久保健彦5千円	福祉19 片桐陽子1千円	食文10 三島博子2千円	食文11 塩崎敏江5千円
国際7 牧田 譲1万円	国際22 長谷川千鳥1千円	福祉22 塚本幸子1千円	食文7 江本和嘉子1万円
生環14 悴部保人1千円	国際13 野村静代1千円	福祉20 畑中英直1万円	音文22 平尾節子1千円
国際16 小畑浩昭5千円	福祉8 大久保洋子3千円	生環22 清武房江5千円	福祉18 臼井 清3千円
福祉21 岸野清美1千円	福祉21 佐治詔子3千円	生環13 谷口文子5千円	生環11 小泉 宏1千円
音文22 九鬼美代1千円	生環1 児玉 浄/守見子5千円	食文21 安田典子2千円	美工22 稲田正広3千円
福祉18 阪田國彦1千円	福祉22 西尾みさ子1万円	福祉18 松本治美1千円	音文12 天井順子3千円
生環22 富川 修1千円	生環22 高山時男1千円	生環12 宮崎芳江1万円	食文22 坂上照代1千円
美工21 山地良和1千円	福祉22 中畑一夫1千円	園芸15 堺 汎3千円	一般 野見喜昭1千円
福祉11 鈴木輝男1千円	国際22 藤川敏子1千円	生環18 杉原ふき子3千円	国際11 長谷川洸士2千円
食文19 久保洋明1千円	音文19 古後弘子1千円	福祉12 妹尾芳子2千円	国際13 柳川瀬淳一3千円
福祉17 國頭隆雄2千円	福祉18 古後健一1千円	国際10 土井昭政1千円	福祉21 黄 芳 2千円
生環14 宝田三郎2千円	福祉9 土部貞子1千円	音文17 淵上晴子2千円	生環14 臼井八枝子3千円
音文11 中西和子3千円	園芸20 井上次夫1千円	福祉21 真川俊雄1千円	福祉19 中部周二1千円
国際11 下村玲子3千円	国際19 高田公子2千円	福祉20 津田節子2千円	生環17 田路義弘1千円
福祉21 清水克祐3千円	園芸20 市原俊彦1千円	福祉11 増金スミ子2万円	食文21 小椋宗二2千円
食文20 片岡泰雄3千円	食文20 岡田利勝3千円	生環21 才上眞行1千円	福祉18 広瀬範義2千円
音文8 小坂芳弘3千円	生環13 榊原弥栄子5千円	生環21 浜田哲夫3千円	生環16 北浦俊明5千円
美工22 坂田直美5千円	国際14 久保正志3千円	美工21 田中正子2千円	福祉10 形部康子3千円
国際14 青木千恵子5千円	福祉13 白井かほる3千円	生環18 山口昭則1千円	音文8 有田幸司/秀子1万円
生環14 操田登志子1万円	福祉3 細野恵久3千円	生環16 三谷裕善1千円	福祉 匿名 5千円
福祉17 市岡克子1万円	生環18 水町亮治1万円	音文5 常信久子3千円	音文5 深川久美子2千円
		福祉14 植村 勝3千円	園芸20 黒田美恵子1.5千円



今年もKSC新入生を迎えるシーズンになりました。今年の入学案内は、すでにカレッジや区役所等で配布されています。友人やお知り合いの皆さまに、ぜひご紹介をお願いします。説明会も開かれます。(KSC事務局)

- ・入学願書提出
1/21(月)-2/1(金)持参、郵送、またはホームページからの出願。
- ・学校説明会(説明・見学会)
1/21(月)-24(木)
①10:30から12:00
②13:00から14:30
*事前申込み不要です。



オープンキャンパス風景

北海道胆振東部地震災害 支援募金を実施中

昨年は各地で数多くの災害に見舞われましたが、9月6日に発生した北海道胆振地方中東部を震源とする最大震度7の地震により、北海道に大きな被害が発生しました。グループわとして何かできることはないかと考え、広く会員の皆さまから支援金を募り、被災された方々に対する支援を行いたいと考えております。会員の皆さまの温かいご支援をお願い申し上げます。

ぎやらりーわ10月号(10/30発行)の郵送にゆうちょ銀行払込取扱票を同封しましたので、ご利用ください。

パソコン教室 「パソコン何でもお好み塾」

今年から「週1回金曜日のみ開催」になりました。ご利用をお待ちしています。

初心者なので一から学びたい。
ここが分からなくて先に進めない。
ネット、メール、写真、年賀状…がしてみたい

☞ 講師のマンツーマン指導ですので、マイペースで何回でも質問できます。

- ・場所：新長田ふたば学舎
- ・開催：毎週金曜午前9:30-11:30
- ・受講料：1,500円/日

申込み・問い合わせ：グループわ迄



毎週一回
金曜午前開催!

編集後記

虚弱防止のフレイルサポーター活動で、ダイエットよりもしっかり食べてしっかり動け!筋肉を鍛えよ!と教えられました。

今年の目標:イスから片足立ちできるように頑張ります!(浜田)

(わ)のホームページの閲覧が活性化することを願い、個人的な投稿のページ「会員の広場」のページを設けています。得々情報、便利情報、イベントのPR、イベント参加、旅行の感想、エトセトラ。会員、KSCの皆様、気楽に投稿を。お待ちしております。(才)

連載企画の各部会交流活動の拡大では、福祉部会・国際部会・環境部会と掲載してきましたが、今号は、文化部会(伝統文化系)でした。11グループそれぞれ非常に多彩かつ活発に活動されています。今後ますますの充実をよろしく願います。(八木)

わだより

☆ (わ)の会員数 (2018/11/30現在)

1,478名(うち22期生157名)

☆ 水の科学博物館 入場者数

35,409人(年間目標66,000人)

入場者数増にご協力をお願いします!!

水の科学博物館 スタッフ募集中!!

◎業務回数：月3回程度

◎時間：8時45分～17時

(募集人員)

庶務担当2名

事務所内勤務

電話受付、団体予約見学者

受付、リスト作成、一般事務

湯茶接待

(申込先・連絡先)

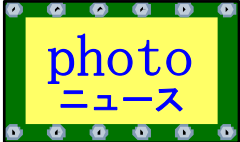
グループわ

Tel. 078-743-8101

あなたも
一緒に活動
しませんか?



秋の森林浴ウォーク(のじぎくの里)



好天の11月5日月曜日、曾根の“のじぎくの里”で、秋の森林浴ウォークを開催しました。「森の仲間」の協力のもと、21名が参加し、皆さん元気に約4キロを歩きました。



曾根天満宮前



日笠山ハイキングコース 夫婦岩

こうべロハスひろば(もったいない・手作りひろば)

これまでしあわせの村の人気イベントだった“リサイクルマーケット”が、今年から“こうべロハスひろば”に衣替えしてスタートしました。グループわも、11月10日は3グループ(We love もったいない・フードライブ・ケナフの会) 11月11日は2グループ

入場者数	
10日	13,000人
11日	17,000人



(木工グループ・さおり・たまも)が参加しました。当日は晴天で暖かく、広い会場は、老若男女であふれ活気がみなぎっていました。



“ホームページ&動画サイト”で ホットニュースを!!

皆さま、ご存知でしょうか？ グループわの活動を素早く知るためにはホームページが一番!! 区会や部会のホットニュースが満載です。活動を動画で紹介する動画サイトもぜひご覧ください。



GoogleやYahoo!の検索画面で「グループわ」と入力 → グループわの見出しをクリック → 上のHPが開きます!
 スマホ、タブレットはQRコードから・

